

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	321
事務事業名		市民スポーツ推進事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		3	地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む	
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画	
				飯田市スポーツ推進計画	
法令・例規等			スポーツ基本法		
			飯田市スポーツ推進委員設置規則		
			飯田市スポーツ推進審議会条例		
事業目的		対象	市民		
		意図	・子どもたちのスポーツに対する多様なニーズに対応できる環境を整備する。・すべての市民の日常生活に運動習慣が定着し、スポーツを通じたコミュニティづくりが進む。		

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	コロナウイルス感染症の影響により各種大会等は中止となりましたが、登山マラソンの代替企画として風越山を身近に感じる機会を提供したり、月いちウォーキング(2回)を実施しました。スポーツ推進委員会では、コロナ禍でのスポーツ活動のあり方を議論し、公民館委員を対象としたニュースポーツ普及体験会の中で安心安全な大会運営を試行しました。また、学校休校時の小学生に向けて、運動不足解消を目的とした「ぼおと体操」を実演・放映しました。子どもの体力・運動能力向上のためのコーディネーショントレーニングを公立保育園で実施しました。スポーツ推進審議会を開催し、スポーツ推進計画の第2次改定をしました。		スポーツ推進委員活動		1,207						
			飯田やまびこマーチ開催		1,231						
			風越登山マラソン大会開催		0						
			スポーツ推進審議会		90						
			市民スポーツ推進経費		1,203						
			その他の経費		0						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	スポーツ推進委員の企画運営した大会数		回	2	1	1	1	1	1	1	1
	スポーツ推進委員の活動回数(全市会議・研修・講習会指導)		回	90	83	100	91	100	135	100	59
	スポーツ推進審議会開催回数		回	2	2	3	1	3	0	3	3
	飯田やまびこマーチの市民参加者数		人	3,000	3,054	3,000	3,251	3,000	3,847	3,500	0
	風越登山マラソン大会の市民参加者数		人	800	563	750	473	650	399	350	0
	コーディネーショントレーニング実施回数		回	-	27	-	26	-	6	-	23
2年度 決算 (千円)	予算額		5,968	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		3,731	(そ) ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	240								
一般財源		3,491									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	10	6	1	10	1	2,203	1,669	スポーツ一般経費	
2	1	10	6	1	11	5	816	673	生涯スポーツ推進事業費	
3	1	10	6	1	11	6	2,370	1,231	やまびこマーチ開催事業費	
4	1	10	6	1	11	8	0	0	風越登山マラソン大会開催事業費	
5	1	10	6	1	11	1	579	158	スポーツ事業費	
6										
7										
振り返り課題認識		コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となり、運動不足による体力の低下やコミュニティの維持等が課題です。特に子どもの体力の低下と運動習慣の二極化がさらに進むことが懸念されます。今後は、コロナ禍における各種大会等の開催や日常的な運動習慣につなげる事業展開について検討していきます。								
上記の課題解決のための有効策		各種大会の規模や運営を工夫し、実施できる方途を模索します。運動不足になりがちな日常に、個人や少人数でもできるスポーツ活動の提案をしていきます。								
次年度に向けての取り組み		コロナ禍における各種大会の安全な開催について、実行委員会や関係団体等と実施にむけて協議します。スポーツ協会やスポーツ推進委員、各ウォーキング団体等と連携して、子どもや市民の日常的な運動習慣につながる取組みを進めます。コーディネーショントレーニングの成果を検証し、子どもの体力・運動能力向上の取組みを検討します。								